

伊方町議会第72回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
末光 勝幸 議員	1 空き家対策について	町 長
質問の要旨		
1月31日現在、伊方町の世帯は4,431世帯、人口は8,372人となっています。令和3年度伊方町空き家等実態調査によりますと、伊方地域471戸瀬戸地域400戸、三崎地域426戸と、合計1,297戸の空き家が報告されています。 今後も人口の減少が予想されることから、空き家の数は更に増加していくことが見込まれます。県レベルでも愛媛県は、全国で7番目に空き家が多く、129,800戸、18.2パーセントが空き家となっています。全国でも349万戸の空き家があり、取り壊さないで空き家が増える原因として、取り壊し費用が高額となることと、取り壊した後の固定資産税が4倍から6倍になることが、空き家の増える原因ともいわれております。 中でも、町内には放置されて倒壊の危険にある空き家が155戸もあると報告されてもいます。また、後継者もなく、町への買い取りや、寄付を申し出る方々も多いと聞き及んでいます。住宅だけでなく、比較的大きな建物が空き家となり、廃墟となっていくことは、町の活力、美観からも懸念されることが多くあります。 そこで、伊方町における空き家対策について、どのような施策が講じられているのか伺います。		